

# 〔優良賞〕 見えないコードのユニバーサル絵本「鳥の詩」



株式会社アポロジャパン

〒759-4106 山口県長門市仙崎1031-78

TEL.0837 (27) 0197

<https://www.apollo-japan.ne.jp/>

代表取締役

岸上 郁子 氏

アポロジャパンが開発したスマートフォン用スクリーンコードは、スマホアプリを使って子どもや視覚障害者が音声で書籍を楽しむことができるデジタルツール。約40マイクロメートルのドットで構成する目に見えない独自のコードを印刷することで、紙に情報を埋め込む。利用者はスマホをページにかざすだけで音声が出る仕組みだ。

ページ全体が目立たないように印字できるため、既存のQRコードのように位置の特定が不要でデザイン自由度が高い。情報量は7バイト、情報記述のための最小サイズは81ドットで1.5センチメートル。

またスマホで読み取る際にマッピングサーバーにコード番号を送信、言語と地域を自動的に誘導するため、多言語対応が簡単に行える特徴もある。現在は英語や中国語など39カ国の言語に対応している。

もともとは教育現場での導入を目指して音声ペンを利用していたが、中国で領収書やパスポート、商品の真贋判定としての利用が先行した。日本でも視覚障害者やインバウンド（訪日外国人）向け書籍ニーズが増えたことから、スマホを使った技術を開発した。

現在は絵本事業を柱にしており、出版社と連携してユニバーサル絵本の事業化を進めている。山口県長門市に長門支店を開設したのを機に、同市出身の童謡詩人・金子みすゞの詩集「鳥の詩」のユニバーサル絵本を商品化するなど、地方発のユニークな取り組みを進めている。

